

山行報告

◆女性委員会山行 大岩ヶ岳



山 行 日：5月18日(日)

参 加 者：La 尾内 SLa 西口 有本 大谷 坂田(敬) 田中(美) 田羅間(易) 峯山
Lb 西村 SLb 苦瓜 上川 大石 北口 田中(由)

行 動 記 録

場 所	A班		B班	
	着	発	着	発
J R道場駅		9:45		9:50
千刈ダム	10:25	10:30	10:25	10:30
南ルートとの分岐(道間違い)			11:00	
南ルートとの分岐(再出発)			11:25	
大岩ヶ岳への分岐	10:35		11:55	
大岩ヶ岳(昼食、山座同定)	11:50	12:45	12:30	13:15
東大岩ヶ岳	13:05	13:10	13:40	13:45
丸山湿原との分岐	13:50		14:00	
南ルートとの分岐			14:50	
千刈ダム	14:35		15:00	
J R道場駅	15:05		15:35	



コンパスで辿る大岩ヶ岳

大石

J R道場駅から384mの大岩ヶ岳に登る。特別問題はないだろうと、高を括っていました。天気は良好。コンパスで地図を追いながらの山行です。

2班に分かれて出発です。まずは武庫川に沿って歩きます。神戸市水道千刈水源地からの羽束川にぶつかって左に曲がり、千刈ダムに向かうと、門に遮られ道はどこだ？

ここはすんなり右に回り込んで道は続きます。ダムは大正8年建造で、石造りの素晴らしこと！文化遺産だそうです。

そのあとは、ようやく山道になりますが、ここからが迷いの始まりだったのです。

急坂を登ったら、沢が右から左になったので、分かれ道なのかと早とちりしてしまい、リーダーからそんなに歩いてないよとアドバイスもらったのに、さっきの坂がしんどかったから歩行時間を考慮できず、次の分岐で現在地を勘違いして、間違ったコースを選んでしまったのです。

スタートから順番に先頭を変わりながら、班行動していましたが、ちょうど私の番でした。私は確信して進んでいました。地図とはすこし違う地形だなあ。と思っても、そのまま歩いていたら、リーダーから声が掛かり、ストップです。リーダーはずっと我慢していたけど、だれも気がつかないので、ハラハラだったのでしょうか。私は確信して先頭を歩いていたので、なんで？なんで？

分岐まで、引き返し説明をうけてようやく私がミスったと判りました。あ～、やっちゃた！恥ずかしい！先頭交代で山頂に到着できたのは、A班に30分遅れです。

昼食をとり、山頂から見える山と地図を見比べコンパスで確認する練習をしました。

下山コースは、東大岩ヶ岳を經由して回遊コースで尾根道を東山橋にもどります。丸山湿原を通り、広場に出たところで道が見当たらない。コンパスでこっちだと皆で確認し、大丈夫だと確信して進みました。

ところがまたまた、往きで間違ったところに出てしまったのです。なんで？何を間違えたのかな？きっと他に道があったのでしょね。今回はこのまま駅に戻ることになりました。

低山だから道迷いをして、全員無事に下山できましたが、天気や時間でビバークとなったかもしれないと思うと、しっかり地図を理解して慎重にコース取りをしないとイケないと思えて実感し、反省、反省の日でした。

指導してくださったリーダー、辛抱して付き合ってくれて下さり有難うございました。班の皆さん、仲良く協力してくださり、ピンクのつつじがところどころに残り思い出深い山行でした。ぜひ、リベンジでもう一度訪れたいな。

◆氷ノ山筍狩り



山 行 日：5月24日(土)

参 加 者：L 砂川(延) SL 尾内 金島 坂田(俊) 長谷川(孝)

行 動 記 録：山電高砂駅 7:00 発ー市川 S A 7:45 発ー大段ヶ平駐車場(9:30 着)ー神大ヒュッテ(10:30 着)(昼食・筍取り) 12:30 発ー氷ノ山頂上(13:00 着) 13:10 発ー神大ヒュッテ(13:30 着)ー大段ヶ平駐車場(14:30 着) 14:45 発ーとがやま温泉入湯(15:15 着) 16:15 発ー山電高砂駅(18:50 着)



私の好きな山

金島

私には好きな山がいくつかあります。

特にはっきりした理由はないのですが、ただ年に一度は登りたい山が氷ノ山なのです。

5月24日朝、上々の天気は登山とすずこ取りの絶好のお日和です。また、今日の昼食には野外食で豚汁パーティーの予定なのでわずかの野菜に豚肉、味噌などを背負い仲間5人と7時には出発9時過ぎには氷ノ山の登山口大段ヶ原に到着しました。ここから神大ヒュッテまでが私の大好きな山道です。登山口から神大ヒュッテまではそれほど勾配もなくしてしばらく両脇は大きなブナ林が続きます。日の光がブナの葉裏に透けて眩いほどの森林浴です。鶯が鳴き、カッコウが鳴き、



山アジサイの花びらが道に散らばる様はいつか見た映画の場面を思い出させてくれます。ブナ林を過ぎるといよいよ「すずこ」の生える笹藪の道を登るのです。藪の中にはかき分けて歩く先客の声が聞こえ早々と袋いっぱい収穫を見せつけられます。否が応でも、私も発奮“今年もすずこ大収穫するぞー” 10時過ぎには神大ヒュッテに到着。ザックをテラスに置きすぐさま「すずこ取り」始めです。昨年来の経験から大収穫の予定のはずなのにどうしたわけか今年は目当ての「すずこ」が見当たりません。生えていてもまだ短く細い。今年は遅くまで雪があったことや寒かったことが原因で最盛期には少し早かったようです。しかし、こんな時のすずこは水分をたっぷり含み柔らかく、苦みも少ない美味の山菜になるようです。しっとりとした白い根元はかすかにピンク色に染まり

竹の香りがほんのりしています。途中で見た先客の大袋の中の収穫とは程遠く私の今年のすずこ収穫は30本ばかり、でもこれで十分です。12時には予定通り豚汁パーティーです。県下最高峰の山に登り、眼下に広がる山並みを眺めながら“おにぎりを頬張る”こんな遊びを持つことに大満足と感謝です。食後は水だけ携えて氷ノ山頂上を目指します。

頂上の手前にやっぱりありました今年も。まだ雪が残っていたのです。少々薄汚れてはいますがこの5月に残雪を踏みしめることが氷ノ山で味わえるのです。頂上には近隣の高校生たち、若い青年男女そして年配の私たち、山を楽しむ仲間で大賑わいです。遠くかすむ山並みを見下ろしながら今年もこのてっぺんに立つことができた幸せを感じてきました。収穫のすずこを大切にザックにおさめ、私たちは無事大段ケ平に下山の帰途につきました。車中での会話に参加しながらも私は今夜の夕食を思い頭の中は主婦のモードに早変わり。収穫の半分は今夜の夕食に“すずこの天ぷら”にビールで決まりです。残り半分は灰汁取りをして（少し砂糖を入れてゆでる）酒でのばした味噌の中に漬けておきましょう。明日はすずこのスティックサラダの予定です。今年も楽しい氷ノ山を楽しませていただきました。ありがとうございました。

◆五台山&五大山



山行日：5月25日（日）

参加者：La 和田 SLa 瀧原 大石 貝塚(文) 川上 木村 澤田(卓) 島本 田中(美) 田羅間(易) 藤田

Lb 西口 SLb 澤田(律) 青山 香川 関山 中嶋 苦瓜 開 萬代 山下(純)

行動記録：岩瀧寺駐車場 9:35～独鈷の滝 9:45～五台山(11:10 着) 11:15 発～小野寺山(11:25 着) 12:00 発～鷹取山(12:40 着) 13:00 発～愛宕山(14:05 着) 14:20 発～五大山(14:30 着) 14:35 発～白毫寺 16:00 着



五月の風の五台山へ

山下

心地よい朝、みなと観光バスで氷上町へ向けて出発しました。砂川会長から事前に、「険しい山だからくれぐれも気を付けて行って来てください。」と言われていましたが、まだ心構えは出ていませんでした。

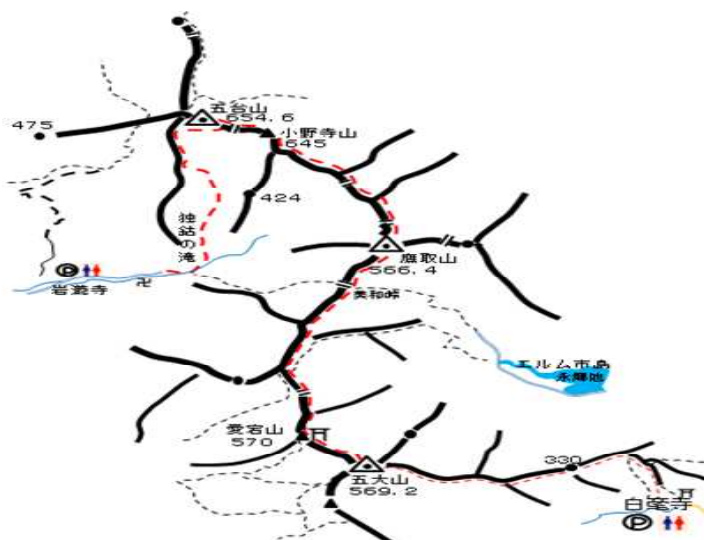
9時半頃に駐車場に到着し、ストレッチをしていざ出発となりました。公園のように手入れされた登山口から独鈷の滝へ。木立の中一筋の滝。さわやかな空気を吸い、五台山まで元気に軽やかな山行。山頂での大パノラマを見て感動し、来て良かったと思いました。

次は絶景の小野寺山へ。楽しい尾根歩き。しかし、それも束の間。段々と暑さと山の険しさが目の前に立ちのぼります。ロープでよじ登ったり、まるでロッククライミングのように岩にしがみつき、木々にしがみつき登ったと思えばまた下り、リーダーの足元を見る余裕もありません。

ふと、地面に赤い小さな花が落ちているのが目に入り、上を見上げると赤い花を一杯につけたサラサドウダンがひと時の安らぎを与えてくれました。

5つの山をよじ登り、どこまで降りたら下に着くかと思うくらい下ると、お寺の屋根が見えた時はやっと終わったかと笑顔が戻りました。

さわやかな五月の風と、前を歩いて引っ張ってくださったリーダーの方達に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



◆武庫川清掃&ゴミ一掃運動



実施日・時間：6月1日(日)9:00~12:00

集 合 場 所：JR西宮名塩駅 9:00集合

参 加 者：澤田(律) 大谷 西口 本多



清掃登山・クリーンハイクアピールに思う

澤田

兵庫労山の自然保護委員会では「武庫川清掃&ゴミ一掃運動」を実施している。

これは1990年代に、兵庫県による武庫川ダムが建設されそうな状況になり、地元住民や兵庫県勤労者山岳連盟、自然保護委員会が反対運動に立ち上がって以来実施されている運動である。

現在では西宮地域の市民からなる「21世紀の武庫川を考える会」が結成され、この3団体が中心になり活動が継続されている。

現在では、「武庫川溪谷廃線跡ハイキング道」の利用についてJR西日本への開放要請や行政への管理移管等を働きかけ、都会に近くて市民にも親しまれている「武庫川溪谷廃線跡ハイキング道」を残すための運動が実施されている。

今回は152名の兵庫労山会員が参加し、作業分担区間の草刈りを実施した。

高御位山遊会は10区間の350mが他の山岳会と共同の受け持ち区間であった。伸び始めた草や木も若々しくて扱いやすかったので、良い時期の設定だと思った。また、地面は枯れ葉の腐葉土がふかふかしており、腐葉土が草木に与えている恵みを実感した。草木はゴミと異なり、歩く邪魔にならなければ気にならないと思う。

また、労山では2014年、清掃登山・クリーンハイクアピールとして ①ゴミは捨てないようにし、山から拾って持ち帰りましょう ②捨てられているゴミを見つけたら、拾って持ち帰ってください。清掃登山を日常的に心がけ、登山者、ハイカー、行楽客にゴミの持ち帰りをアピール



しましょう。③全ての登山者・ハイカーが山と緑の番人・山岳自然を守る番人としての自覚を持って山歩きをたのしみましようと呼びかけている。

高御位山遊会の会員の中にも、山行毎にゴミを拾って持ち帰っている人がおられる。私は今まで、清掃登山時のみしかゴミを拾っていなかったのですが、今後は出来る範囲で実施していきたいと思う。

会員が労山の2014年、清掃登山・クリーンハイクアピール内容を確認し、山の自然保護行動へと繋がるよう協力していくことが重要だろう。

◆加西行者道 鎌倉山：教室実技④



山行日：6月8日(日)

参加者：教室生16名

サポート La 尾内 SLa 大瀬 上田 兼澤 北口 Lb 山本(正) SLb 瀧原 木村 平井

行動記録

場 所	着	発
普光寺駐車場		9:25
合流地点	10:00	10:02
鉢尾峰（大天井）	10:16	10:23
大日如来石仏	10:50	
東ののぞき	11:08	
柳峠	11:18	
鎌倉山頂	11:56	12:28
西ののぞき	12:40	
鎌倉寺	12:46	
駐車場	13:25	



石仏を愛でながらの鎌倉山

北口

2014年度「初めての山歩き教室」から4回目の実技トレーニング。

教室生16名、サポート9名の参加で、加西市の北東に位置する「鎌倉山」に登りました。

普光寺を中心に鎌倉山とその周辺の山稜の旧行者道を回るコースで古くから神々の古里である神体山として、あちらこちらに石仏が祀られ西の、のぞきでは珍しい磨崖仏も見られました。鎌倉山山頂(452.7m)からの眺めも素晴らしく、明石大橋、淡路島、高御位山、-----、播磨平野が一望できました。

先週から梅雨入りで連日蒸し暑く、前回高御位山トレーニングで数名が苦戦されていたので少し不安もありました。でも今回のコースは杉林が終始陰を作ってくれとても歩きやすく私達A班は快適な山行となりました。最後に-----今年の教室は毎回必ずコンパスで位置を確認しながら登るので(当たり前のことですがなかなかできていないので)勉強になります。サポートとして参加させて頂き、大変有難うございました。